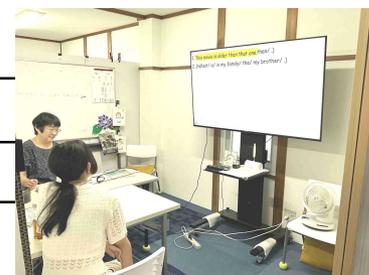


■フリースクール

概要	一般に、不登校の児童生徒に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設。その規模や活動内容は多種多様であり、民間の自主性・主体性の下に設置・運営されている。
設置数	高知市内3施設、いの町1施設
対象児童生徒	主に、小中学生であるが、義務教育年代以外の子どもも対象
運営形態	①安心できる居場所 学校への復帰だけを目的とするのではなく、子どもが安心して過ごせる居場所として開かれている。また、同じ仲間たちと交流できる場面を設定している。 ②学習サポートが中心 行事・体験活動だけでなく学校に通えなくても勉強は続けたい、反対に勉強の遅れが気になるといった子ども向けに、学習サポートも行っている。
活動内容	・一人ひとりの学力や理解度に応じた学習支援 ・見学や職場体験などの社会体験 ・自然観察や農業体験などの自然体験 ・昼食づくりなどの調理体験 ・音楽・美術・工芸などの芸術活動 ・子ども・保護者への相談支援 ・家庭への訪問支援
スタッフ	元教員を雇用している施設もあるが、教員免許の取得を求めている施設もある。
費用	入会金：12,000～55,000円、授業料：日額2,500円や月額30,000～47,300円など。その他費用が必要となる場合もある。
備考	大学と連携し、学生による学習支援や訪問支援の実施を行っているフリースクールもある。在籍校の校長の判断によって出席扱いになっている。



■公民館や図書館等公共施設の活用 (35市町村(学校組合)教育委員会)

室戸市

【羽根児童館】対応：児童館職員
・学校に行きにくい子どもの受け入れ有り。
・2ヶ月に1回、学校との合同支援会議を行っている。

土佐市

【戸波児童センター】対応：市職員、支援員(元教員)
・8:30～17:15開館
・学校に行きにくい子どもの受け入れ有り。

仁淀川町

【公民館】対応：相談員(会計年度任用職員)
・活動は学習支援や調理実習等。
・学校と毎日出席の確認をとっている。

津野町

【かわうそ館(図書館)】対応：指導員1名常駐、週2日はSSW。
・教育支援センター主催の「ホットルーム」。
・学習、スポーツ、制作活動など。
・指導員と学校が定期的に情報共有。

土佐町

【土佐町児童館】対応：町職員、児童館職員、会計年度任用職員
・8:30～17:15開館
・学校に行きにくい子どもの受け入れ有り。

南国市

【十市・北陵公民館】対応：指導員
・夏休みの期間に教育支援センター分室として開所(～R5)

奈半利町

【町民図書館】対応：図書支援員
・学校に行きにくい子どもを、町民会館の図書館で受け入れ有り。

高知市

【地域コミュニティ施設・老人ホーム】対応：NPO法人GIFT
・週3日、学校に行きにくい子どもを受け入れ。
・学習支援や探究活動を実施。(無償)